

授業科目

視覚機能学実習V

担当教員名 前田 史篤、谷 佳子、宮口 翔太、高林 知也、志賀 木綿子 (非) 他	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	90

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

授業の概要

視覚障害のシミュレーションを行い、患者の見え方と日常生活における不自由度を理解する。これまでに学習した眼科検査の手法を用いて患者の自覚的な所見を他覚的に裏付け、系統的な病態分析の方法を学ぶ。

授業の目的

患者の主訴から必要な検査を判断し、それを正しく実践できる臨床的な技能を獲得する。

学習目標

1. 入力系検査、統合系検査、出力系検査を実践できる。
2. シミュレーションを通じて視覚異常およびその見え方が理解できる。
3. データの正常値とその幅を理解し、再現性の確認と異常の判定ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス シミュレーションの方法と分析の具体例	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
2-3	車椅子の基本操作、トランスファーの基本動作	実習	宮口 翔太、高林 知也、前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
4-6	視力障害のシミュレーションの提示	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
7-12	データの測定、分析、評価	実習	谷 佳子、志賀 木綿子 他
13-15	各グループの発表	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
16-18	視野障害のシミュレーションの提示	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
19-24	データの測定、分析、評価	実習	谷 佳子、志賀 木綿子 他
25-27	各グループの発表	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
28-30	斜視のシミュレーションの提示	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
31-36	データの測定、分析、評価	実習	谷 佳子、志賀 木綿子 他
37-39	各グループの発表	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
40-42	まとめ 1	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他
43-45	まとめ 2	実習	前田 史篤、谷 佳子、志賀 木綿子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
	眼科検査ガイド 第2版	根木 昭 (監)、飯田 知弘、近藤 峰生 (編) 他	文光堂	2016年	24,000円+税	前年までに購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験: 40%
グループ発表: 30%
提出物: 30%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日 昼休み

P310

fumiatsu-maeda@nuhw.ac.jp